

令和3年度 北海道東川高等学校 学校経営シラバス

校訓	学校教育目標	スクール・ミッション
美風慣行 自律創造	<ul style="list-style-type: none"> ○他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成 【美風】 ○自ら目標を定め、その達成に向け主体的に努力する人材の育成 【自律】 ○互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成 【創造】 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の目標に向けた努力を支え、楽しく充実した学校生活の場となり魅力ある教育活動を展開している学校 ○東川町の支援を最大限に活用し21世紀型能力を育成、進路希望の実現を果たし、地域愛や地域社会へ貢献する人材を育成する学校 ○生徒が東川 mind (福祉 mind, glocal mind ,challenge mind) を持ち、互いを高め合っている学校

学校経営方針		育成を目指す資質・能力
◎学校の特徴を明確にし、生徒一人ひとりの個性を生かす、創意あふれる教育実践を推進する。 (1)地域の理解や協力を得、地域を活用した探究活動を計画し、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (2)校訓や学校教育目標、東川 mind の浸透を図り、一人ひとりの可能性を高める実践を推進する。 (3)教職員の連携・協働・共有、分担意識の高揚により、ワークライフバランスの向上を図る。		東川マインド ・福祉 mind (至誠心、受容力、共感力) ・Glocal mind (社会性、協働性、コミュニケーション) ・Challenge mind (主体性、行動力、創造力)

領域	対象	重点目標	中期目標	今年度の目標	目標達成のための具体的取組 (評価の観点)
教 育 活 動	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の向上と21世紀型能力の育成 ○地域の教育資源を生かした探究活動の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎力向上・探究学習実践による学習意欲向上と思考力の育成 ○21世紀型能力を育成する総合的な探究の時間の計画 	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びなど、指導の工夫改善 2 授業での課題発見・探究・まとめ・表現の推進 3 外部テストの有効活用 4 R4年度以降の総合的な探究の時間の計画 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に見通しを持った学習と定着を促すため各時間目標の明示や振り返りを行う。 2 思考力や表現力を育てるため探究・協働・表現の機会を取り入れる。 3 基礎力診断テストを個別指導や授業改善に活用する。 4 R4年度からの総合的な探究の時間の計画を作成する。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○東川 mind の理解・醸成による豊かな心や思いやりの心、社会性や多様性を尊重する豊かな人間性、自主自律の精神の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○校訓と教育目標の浸透と実践 ○周囲の様々な人との交流の推進と他を認め協働する社会性の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 東川マインドの育成 2 コミュニケーション・人間関係構築力・自他を認める態度の育成 3 生徒観察及び教育相談の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 (1) 学校教育目標を意識し、東川mindの周知徹底を図る。 (2) 目標達成に向け、主体的に活動するよう指導する。 (3) 生徒の活躍・発表の場をできるだけ多く設定する。 (4) 生徒同士の協働を推進し、行事の活性化を図る。 2 生徒同士や地域の多様な人々との交流の機会を設定し、自他を認め、コミュニケーション・人間関係構築力の育成を図る。 3 (1) いじめやネットトラブルを防止する教育活動を推進する。 (2) 生徒の情報交換・共有と教育相談体制を継続する。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○町の支援を生かし、地域貢献に結びつくキャリア教育の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来を見据え、協働し、社会貢献を目指すキャリア教育の実践 ○積極的に地域と関わる人材の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 適切な職業観を育成するキャリア教育の実践 2 将来の見通しや地域と関わる態度の育成 3 進路実現を目指し、努力を継続する態度の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織的キャリア教育により職業生活への意欲を育成する。 2 地域や外部との交流、教育力等を積極的に活用し、様々な観点からのキャリア教育を推進する。 3 目標の早期設定を図り、それに向けた計画的な面接指導、講習、検定模試により実力の養成を図る。
	健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全、命の大切さに関する意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の生命・安全を尊重する精神の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境美化に積極的に関わる態度の育成 2 生命尊重・健康増進・安全指導の徹底 	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員会・生徒会・部活動等による美化活動が主体的になるよう指導し、意識の高揚を図る。 2 (1) いじめ防止に向けた取組を推進する。 (2) 講話や通信等により健康・命等に対する意識高揚を図る。
	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との連携による効果的な教育活動の推進 ○理解され信頼される学校づくり ○OCSの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での探究や地域人材・教育資源の活用による、地域の期待に応える学校づくり 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域教育資源の活用 2 地域から理解を得る教育活動の推進 3 教育目標の浸透を目指した取組 4 学校評価の充実・分かりやすい広報の推進と説明責任の履行 	<ol style="list-style-type: none"> 1 (1) 町内の教育機関など、地域資源を活用する。 (2) 地域人材や教育資源を積極的に活用していく。 2 (1) 生徒・保護者の思いや地域ニーズに積極的に対応していく。(社会に開かれた教育課程の検討) (2) HPや学校通信等で積極的に情報を公開する。 3 学校教育目標を適切に説明し、理解の推進を図る。 4 C Sを活用し学校評価の充実を図る。
学 校 運 営	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ミッション・教育目標・経営方針等の共通理解による協働体制の構築 ○連携・協働・共有・分担意識の高揚によるワークライフバランスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の自己研鑽、責任、協働による信頼される学校づくり ☆ワークライフバランスを意識した共有・分担 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ミッションや教育目標の共有 2 連携の推進による業務の共有と分担 3 経営参画意識の向上 4 カリキュラムマネジメントによる業務改善の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ミッションや教育目標を意識した指導を組織的に推進する。 2 報告・連絡・相談を密にして職員間の連携に努め、組織的に業務の共有と分担を行う。 3 各分掌や学年の目標達成に組織的に努める。 4 (1) 働き方改革を意識し業務の効率化に努める。 (2) 反省や学校評価から、改善方を検討・実施する。
	教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本を重視し、探究心を引き出す授業の推進 		<ol style="list-style-type: none"> 1 授業力と研修意欲の向上、危機管理意識の強化 2 服務規律の遵守と地域から信頼を得る 	<ol style="list-style-type: none"> 1 (1) 資質向上に向け研修に励み、授業改善に取り組む。 (2) 異状に注意するなど危機管理を意識し業務を推進する。 2 (1) 教育者としての使命感、信頼感を意識した言動をする。 (2) 不祥事防止への強い自覚を持つ。

